

特定非営利活動法人 太陽

公表: 令和6年3月21日

事業所名: めいふる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や 改善すべき点など	課題や改善すべき点を 踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			令和2年4月に新築した建物であり、基準は満たしている。指導訓練室や療育室などはクラス分けし、ホール(遊戯室)は共有している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適切である。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			子どもの特性に応じ、分かりやすく構造化されている。建物内は全てバリアフリー化されている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			生活空間は清潔で心地よく過ごせる空間になっている。子どもの活動に合わせて、パーティションで仕切ったり、開放したりしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			支援計画策定会議で支援計画を定め、定期的にモニタリングを行っている。目標設定の振り返りや見直しは、チームで行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			アンケート調査を実施し、保護者の意見や要望を聞き取り、業務改善につなげているようにしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			保護者のアンケートの結果を踏まえて、事業所としての自己評価を行うとともに、支援の質の評価及び改善内容をホームページで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者の評価はしていない。今後第三者による外部評価を検討している。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			研修計画を定め外部研修に参加できるようにしている。また、内部研修を定期的に行っている。	針生ヶ丘病院の発達療育研修に1年間通わせ、自閉症支援の基礎を学せている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者の方や支援者チームでアセスメントを行い、ニーズや課題を明確にしサービス計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			遠城寺式発達検査を行い、アセスメントを取っている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			ガイドラインを参考に、「発達支援」「家族支援」「地域支援」と、特性に配慮し多項目に渡り支援内容を設定している。	

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			児童発達支援計画に沿った支援を行い、子どもの発達段階に合わせて支援内容を見直している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者や保育士、児童指導員など、チームで活動プログラムの立案を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			般化が無理なく出来るように支援を工夫し、集団や個別とともに、興味関心を見ながら活動プログラムを作成している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別活動や集団活動は、子どもの活動状況に合わせて立案し、対応している。集団と個別は、その子の状態によって柔軟に対応している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝や昼のミーティングで、その日の受け入れ児童の支援の課題や、内容について打ち合わせをしている。	
適切な支援の提供	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			支援終了後に支援の振り返りのミーティングを行っている。支援の内容で気付いたことは共通理解し支援できるようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			支援の検証ができるような支援記録を心がけ、モニタリングに反映できるようにしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			最低でも6ヶ月ごとにモニタリングを行い、支援計画は前期と後期の2回策定している。	
関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援責任者や主となる担当者が、サービス担当者会議に参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>			各市町村の保健師とは連携を密に取っている。利用児の家庭環境も含めて情報教習している。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>			医療的ケアが必要な利用児は受け入れていない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	<input type="radio"/>			医療的ケアが必要な利用児は受け入れていない。てんかん発作のある利用児は2名いるが、保護者との連携で支援が出来ている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>			就学児童審議会情報提供書の作成や、支援内容の情報共有のためケア会議に参加している。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>			就学児童審議会情報提供書の作成や、支援内容の情報共有のためケア会議に参加している。	

子どもの連携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>			他の児童発達支援センターや、児童発達支援事業所などの見学を研修として取り入れている。	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>			保育所や認定こども園、幼稚園との交流の機会は設けていないが、苺狩りや芋掘・大根掘りで、地域の人や高校生と交流を設けている。	
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>			参加している。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			送迎の際や連絡帳を活用して情報交換を行っている。また、保護者より相談があれば随時面談を行っている。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>			保護者が子どもに対しての対応力や理解が進み、自身も子育てのストレスが軽減できるよう支援している。また、ペアレントプログラムの研修の案内を保護者に出し参加を促している。	
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			契約時に重要事項として、保護者の方に分かりやすく説明をしている。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>			児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明をし、保護者から同意を得ている。	
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			保護者からの子育てに対する悩みや相談は随時受け、助言や支援を行っている。	
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>			保護者会としては開催していないが、交流の場として、いも煮会や研修会などを行っている。	保護者会の開催は今後の課題として考えている。芋煮会や七夕交流会は行っている
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			子どもや保護者からの相談や申し入れについて、体制を整備し、誠意を持って迅速に対応しているようにしている。	
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			広報を発行し、活動の内容などの情報を「おたより」で渡している。また、ホームページでも情報を発信している。	
	㉛	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			個人情報の取り扱いについては、情報が流失しないように十分注意している。	利用者の活動エリアに、個人情報記載のものは、持ち出し禁止としていく。情報の流失に十分注意する。
	㉜	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			意思の疎通が図れるように、特性に応じたツール等を使用したり、思いを汲み取りながら情報伝達できるようにしている。	
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			地域住民を招待するなどは行っていないが、地域の社会資源は活用している。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		必要に応じてマニュアルを策定し、対応については職員会議で再確認している。緊急時の対応については、契約時に保護者に説明している。	マニュアルを文書で配布したり、保護者会等の機会を捉えて説明したりし、周知してもらおうしていきたい。また、マニュアルを周知してもらおうとともに、発生を想定した訓練を行っていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		火災や地震の避難など、防災計画に沿って定期的に実施している。	週に何回かの利用児についても訓練参加できるよう、避難訓練の日程は、曜日に偏りがないようにしていく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		子どもの健康面についての状況や対応は、保護者や相談員の方から情報をもらい事前に確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		保護者より食物アレルギーのある食べ物は説明されており、除去している。	必要があれば医師の指示に従い対応する。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		ヒヤリハットが起きた場合には、職員会議で協議し情報共有している。	ヒヤリハットの報告を基に、事例集を作成する予定である。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		虐待防止は内部研修でも行っているが、派遣研修も行うようにする。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		やむなく身体拘束の対応を迫られた場合は、保護者の了解を得たうえで個別支援計画に記載し対応する。	暴力的な行動が出現した場合、落ち着くまで個室において、職員とタイムアウトをする場面も同様な対応とする。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。